

滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会第1回会議 議事概要

- 1 日 時 平成30年12月20日(木) 9:30~12:00
- 2 場 所 滋賀県立青少年宿泊研修所 207研修室
- 3 出席委員 一ノ本委員、菊池委員、北辺委員、黒澤委員、平田委員、山本委員
- 4 議 題
 - (1) 座長の選出について
 - (2) 滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会設置要綱等の説明について
 - (3) 滋賀県希望が丘文化公園の現状等の説明について
 - (4) 現地視察
 - (5) 意見交換
- 5 会議概要 以下のとおり

	<p>(1) 座長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の互選により平田委員が座長に選任された。 <p>(2) 滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会設置要綱等の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料1により説明 <p>(3) 滋賀県希望が丘文化公園の現状等の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料2、3により説明 <p>(4) 現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望が丘文化公園内の文化ゾーン、野外活動ゾーン、スポーツゾーンを視察 <p>(5) 意見交換（概要は以下のとおり）</p>
委員	この懇話会では、どの程度の意見の幅を設定していいのか。例えば、公園の名称変更など検討に含めても構わないのか。
事務局	今年度の懇話会では自由に議論をして頂きたい。
委員	スポーツゾーンでストックウォーキングのイベントを実施しているが、今日は改めてキャンプ場なども視察し、公園の奥深さを実感した。素晴らしい

<p>委員</p>	<p>自然を活用できたらいいと思うが、そのあたりを改めて勿体なく感じた。</p> <p>公園の広大な敷地をどのように活用するかが課題であり、キャンプ場については施設もかなり老朽化しており、あり方も含めて一昔前のキャンプ場という印象を受けた。</p> <p>西エリアはスポーツ、東エリアは教育での利用を目的とした施設となっている。東エリアの動員を増やすのなら、教育の幅をもう少し広げながら、家族や個人などが楽しむ、インスタ映えするような、そういった方も対象にしていくのであれば、もう少し施設等を検討していく必要があるかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>青年の城やキャンプ場は団体の活動で利用しており、よく存じ上げている。青年の城の部屋はイメージ的に暗く、暖かさが無い印象を受ける。エントランスも冷たい感じがある。青年の城での子どもの宿泊では、風呂まで行く道中が短いが離れており気になる。</p> <p>キャンプ場は対象者によって全然造りが変わってくると思う。団体の活動には今のままで十分だが、家族連れ等はゾーンを別にする必要があるかと思う。</p> <p>青年の城からキャンプ場までの距離がネックになっており、荷物を担いでいくのも大半なので、バスのピストンが野外センター迄でもあると、行こうかということになるかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>改めて広大な敷地を再確認した。設立当時のコンセプトは、ゆったりとした大自然のもと野外活動体験をすることで、青少年の健全育成を図るというものだろうと思うが、整備そのものも大変だったのではないかな。</p> <p>文化ゾーンとスポーツゾーンが意識的に分断されており、スポーツの大会などで宿泊して貰いたいと考えるのなら、中央道をどうするかが課題。自動車のメーカーと提携して電動の自動運転車を走らせる等して繋いでいくのか、それぞれ別個で考えていくのか、という議論も必要なのではないかな。</p>
<p>委員</p>	<p>広い面積を管理するのにどの程度経費がかかるのか、利用頻度がどの程度なのか、いくらのコストで維持する必要があるのかが気になった。縮小したほうがいいのかとも思うし、利用者を増やすという点では、アウトレットとキャンプという打ち出し方もあるかもしれない。</p> <p>青年の城に関しては、学校には使いやすい施設にはなっているが、稼働を増やすには、できる内容のデザインのし直し、新しいものを加えていく取組が必要ではないかと思う。それと同時に、施設を提供しても、学校が来られ</p>

<p>委員</p>	<p>て「はい、どうぞ」としては、先生方は忙しくて手が回らないため、施設側での指導体制が必要になる。そういう方向性もあるのかなと思った。</p> <p>難しい投げかけであり、第1回目なのでどう整理すべきか分からないところだが、学校教育を中心とした施設というこれまでの経緯もある一方、400haの資産をどう活用するのか、公有財産の有効活用という視点もある。</p> <p>もう一度、ゼロベースで考えても良いということなので、学校教育の施設として限定せずに、県民の財産をいかに有効活用し、その効果が全県民にお及ぶように考える必要があるのかと思う。</p> <p>文化公園と言っているが、ここからどんな文化を発信するのかというところから、改めて考え直していいのかなと思う。周辺には歴史的な資産もありそうで、歴史文化の発信ができる可能性があるのではないかな。</p> <p>また、周辺には工場もあり、古い歴史文化と最先端のものが地域の中で渾然一体としている。入管法の改正もあり、これから外国の人達も来るかもしれない。そういう中で多様性を認めて、どう活力にしていくのか。</p> <p>学校教育もどんどん変わってきて、バスで来て皆で入講式をしてという方式ではなく、学校教育のちょっと外側で地域の人達とやっていくことで、子ども達がいろんな世界を見つけて、自分たちのアイデンティティを見つけ出す場にもなるのではないかな。</p> <p>多様にしすぎると経営的にコストがかかるが、多様性を認め、うまく整理して、ファミリー、団体、学校向けで園内のありかたは違うと思うので、何でもという訳ではなく、ポリシーをもって適切に配置するというのがいいかなと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>名称については、希望が丘文化公園基本計画の中で、平成32年度までに変更も含めて検討するという内容になっている。利用者数ではスポーツゾーンが多く、スポーツは世界共通で文化活動の一つとされてはいるが、「文化公園」で何をイメージするかという観点から、名前を変えた方がいいという意見もある。多様性、文化、スポーツがコラボしながら、総合的に希望が丘をアピールできる名称がいいのではないかな。</p>
<p>座長</p>	<p>今日のところは印象になりますが、事務局からも、次回に向けてどんな考えがあるか整理していただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>この会議は3回開催するということだが、目指すべきところを明確にしたほうがいいのではないかな。活性化というのは意味が広く、利用者数を増やせ</p>

座 長	<p>ばいいのか、売り上げを目指すのか、謂れ・デザインが成立すればいいのか、どこが大切なのか。そのプライオリティ、優先順位を決めた方が良いのではないか。</p> <p>次回は、この懇話会の目指すところを明確にしていく資料も事務局で作成し、議論をしていきたい。</p> <p>(以 上)</p>
-----	--